



# 令和5年度 福島市水道事業当初予算資料

令和5年6月

福島市水道局



# 1 令和5年度当初予算の概要

## 編成方針

第3期財政計画に基づき、第6次総合計画の重点施策に掲げる「ライフラインの災害対策の強化」として、水道施設の耐震化事業に集中的に取り組むほか、ふくしま水道事業ビジョンにおける **安全、強靱、持続、環境** を柱とした4つの基本方針に基づく施策・事業を推進し、長期的かつ総合的な観点から投資効果、緊急度、優先度等十分検討を行い、予算を編成した。

**基本方針1 安全でおいしい水の供給**

**基本方針2 災害に強い水道の構築**

**基本方針3 持続可能な水道経営**

**基本方針4 地球にやさしい水道へ挑戦**

## 収益的収支

収益的収支における損益は、プラスの場合は「純利益」、マイナスの場合は「純損失」となります。

純利益は、資本的収支における不足額を補てんすることとなり、いわゆる「もうけ」ではなく、施設整備や更新に充てるためのものとなります。

(単位 千円 税込)

項 目	令和5年度予算 (A)	令和4年度予算 (B)	比較増減 (A-B)
収益的収入	7,688,253	7,741,721	△53,468
収益的支出	7,566,948	7,739,923	△172,975
純利益	121,305	1,798	119,507



資本的収支における不足額に補てん

## 資本的収支

約37億円の資本的支出のうち、企業債や国庫補助金などの資本的収入で賄えるのは約42%で、資本的支出に対して約58%の約21億円が不足となりますが、収益的収支で生じた純利益などで補てんします。

(単位 千円 税込)

項目	令和5年度予算 (A)	令和4年度予算 (B)	比較増減 (A-B)
資本的収入	1,561,478	1,353,257	208,221
資本的支出	3,721,208	3,474,555	246,653
資本的収支不足額	△2,159,730	△2,121,298	△38,432



収益的収支で生じた**純利益**や**繰越財源**

## 2 財政計画との比較

令和4年度から7年度までの4か年の財政計画については、令和3年度に策定したものであり、水道事業経営審議会より「健全な経営の継続が確保されると判断する」と答申をいただいたものですが、その財政計画と実際の予算編成の内容を比較したものです。

### 収益的収支

#### 収益的収入

(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
水道料金	6,331,277	6,273,485	57,792
加入金	149,180	153,370	△4,190
下水道使用料徴収受託収益	133,074	125,304	7,770
一般会計補助金	60,124	60,469	△345
長期前受金戻入	307,462	296,349	11,113
その他収入	44,255	46,478	△2,223
計	7,025,372	6,955,455	69,917



## 収益の支出

(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
受水費	2,273,854	2,273,974	△120
修繕費、維持管理費等	1,455,388	1,302,530	152,858
減価償却費等	2,414,776	2,569,252	△154,476
人件費	755,021	677,130	77,891
支払利息	159,208	155,008	4,200
その他	63,580	18,665	44,915
計	7,121,827	6,996,559	125,268

(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
収益的收入	7,025,372	6,955,455	69,917
収益的支出	7,121,827	6,996,559	125,268
純利益	△96,455	△41,104	△55,351



## 資本的収支

### 資本的收入

(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
企業債	1,252,000	1,990,000	△738,000
国庫補助金	132,100	87,311	44,789
一般会計補助金	38,076	38,076	0
負担金等	139,302	158,893	△19,591
計	1,561,478	2,274,280	△712,802

### 資本的支出

(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
老朽管更新事業費	1,466,843	1,698,350	△231,507
その他の建設改良費	659,863	1,575,715	△915,852
人件費	232,464	241,519	△9,055
その他支出	14,096	105,972	△91,876
企業債償還金	1,134,416	1,203,650	△69,234
計	3,507,682	4,825,206	△1,317,524



(単位 千円 税抜)

項 目	令和5年度予算 (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
資本的収入	1,561,478	2,274,280	△712,802
資本的支出	3,507,682	4,825,206	△1,317,524
資本的収支不足額	△1,946,204	△2,550,926	604,722

## 年度末繰越財源額

収益的収支における純利益とあわせ資本的収支不足額の補てん財源となるものであり、安定的な財政運営の財源となるものです。(単位 千円 税抜)

令和5年度見込み (A)	財政計画 (B)	比較増減 (A-B)
3,582,066	1,865,897	1,716,169

※令和5年度見込みは、令和5年度当初予算から算出した額。

(単位 千円 税抜)

令和4年度決算見込み (A)	令和4年度予算 (B)	比較増減 (A-B)
4,176,117	2,825,728	1,350,389



### 3 令和5年度の主な事業



#### 基本方針1 安全でおいしい水の供給 187,327千円

水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。

#### (1) 水質管理の徹底 187,327千円

##### ◎定期的な水質検査

安全でより優れたおいしい水を供給するため、多くの機器を使い、51の水質基準項目等の検査を定期的を実施します。

また、水道水の色や濁りの有無及び残留塩素濃度の測定を、毎日、市内23箇所で行います。



福島地方水道用水供給企業団による共同水質検査



## ◎ 鉛製給水管解消促進



### 鉛製給水管取替工事補助金交付制度

個人管理となる宅地内の鉛製給水管をポリエチレン製給水管などに取り替える工事に対し、その費用の全額又は一部を補助する制度です。



## 基本方針2 災害に強い水道の構築 2,244,638千円

適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。

### (1) 施設更新と維持管理の強化 1,871,850千円

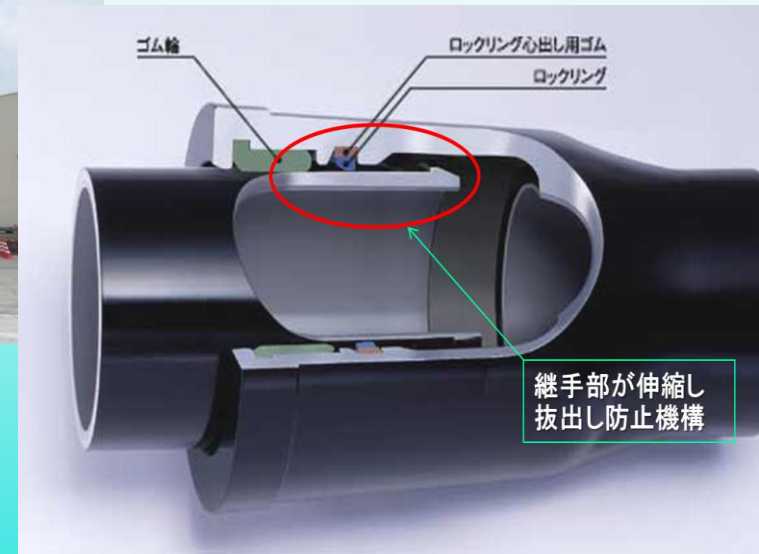
#### ◎ 老朽管更新事業【交付金事業・単独事業】

安全、安心で、おいしい水道水の安定的な供給を継続するため、老朽化した水道管を更新し、漏水の未然防止等に努めるものです。

これまでの拡張事業において整備した管路は、布設年度に偏りがあり、法定耐用年数での更新には大きな財政負担が必要となるため、アセットマネジメントの考えに基づく管路の長寿命化や費用の平準化を図り、100年サイクルでの効果的、効率的な更新に取り組んでいます。



ダクタイル鋳鉄管（耐震継手）



老朽管更新事業に合わせ、基幹管路には耐震継手のダクタイル鋳鉄管を使用し、令和7年度の基幹管路の耐震適合率100%を目標に掲げ、事業を推進しています。



## (2) 水道施設の機能強化

### ◎水道施設耐震化事業 336,730千円

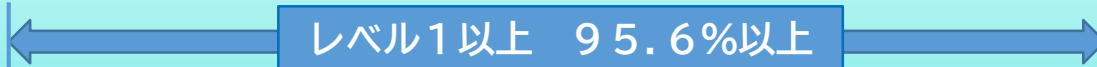
耐震化基本計画に基づき、廃止施設を除いて令和7年度までに主要な配水池等のレベル1耐震化率を100%、基幹管路を令和7年度までにレベル2耐震適合率100%とするため施設の耐震化を推進します。

耐震化の状況 (令和5年3月31日現在)

令和3年度末 レベル2耐震化率93.9% ⇔ 全国平均62.3%

○配水池等 81,753 m<sup>3</sup>

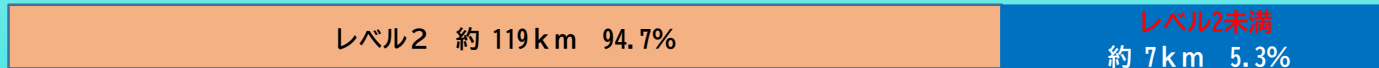
費用対効果の観点から、施設更新時にレベル2耐震基準を満たす計画であり、施設の統廃合も含めた、レベル1耐震化率100%を優先的に実施する。



25施設 (レベル1以上21施設、残り4施設) ⇒ 令和7年度までにレベル1以上 100%目標

○基幹管路 (導水管、送水管、配水幹線 約126km)

令和3年度末 レベル2耐震適合率44.84% ⇔ 全国平均41.2%



レベル2 約 119 km(94.7%)、レベル2未済 約 7 km (5.3%)

⇒ 令和7年度までに基幹管路レベル2 100%目標

※レベル1 最大震度階 6弱 (東日本大震災時の福島市)  
 レベル2 最大震度階 6強 (福島盆地西縁断層帯 → 300年以内の発生確率ほぼ0%)



# ◎摺上川水管橋架替工事

工期：令和3年7月21日～令和6年10月2日（継続費）

【施工前】



【令和5年5月現在】



## <工事内容>

老朽管更新事業の年次計画に基づき、摺上川水管橋の架替工事を施工するもの。  
(橋台2基、橋脚1基、橋長L=94.8m ほか)

### (3) 災害対策の強化 36,058千円

#### ◎官民連携による応急復旧訓練の実施



水道技術継承には、現場経験が重要です。維持管理の基本となる、給水管分岐、漏水修繕を体験し、技術の継承と意識の向上を図っています。

(災害協定を結んでいる管工事協同組合とのコラボレーション事業)

#### ◎備蓄資機材の分散配置及び追加購入（大口径水道管）

現在、渡利地内の水道局施設管理センターに保管している備蓄資機材を適材適所に分散配置するとともに、速やかに応急復旧できるように、非常時に比較的入手しにくい、口径の大きな水道管等を追加購入し、災害に対する備えをより強化するなど、安全・安心・安定供給を継続するために、万全の体制を整えてまいります。

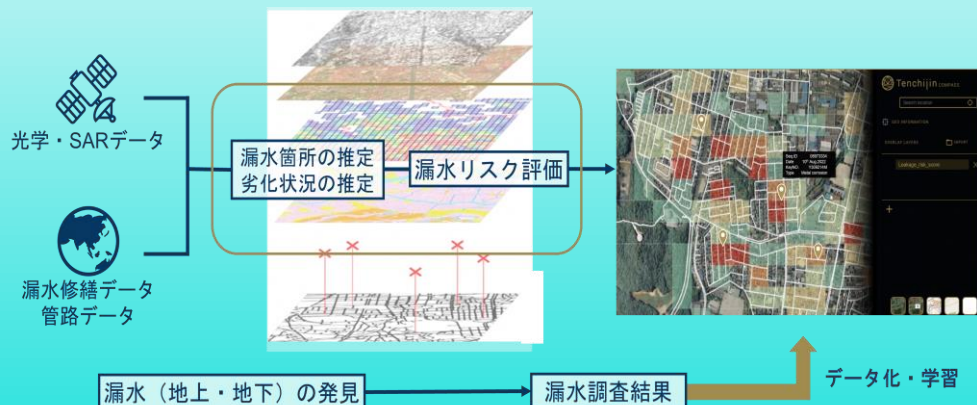
# 基本方針3 持続可能な水道経営 1,471,573千円

お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。

## (1) 経営基盤の強化 1,417,175千円

### ◎人工衛星画像解析による漏水リスク調査

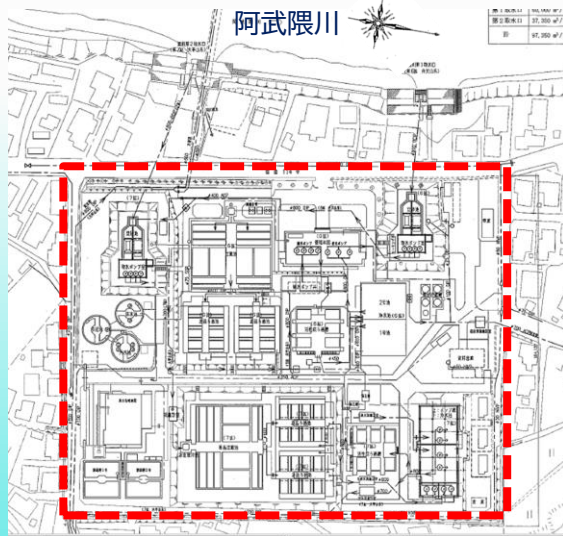
《イメージ図》



管路データ及び過去の漏水履歴ほか、オープンデータ（人口密度・地質等）・人工衛星から取得したデータ（地表面温度・気温・降水量・地盤変動等）を機械学習し、漏水可能性エリアを抽出しリスク評価を行う。



## ◎ 廃止施設の解体撤去 (旧渡利浄水場、蓬萊高架水槽、桜台高架水槽)

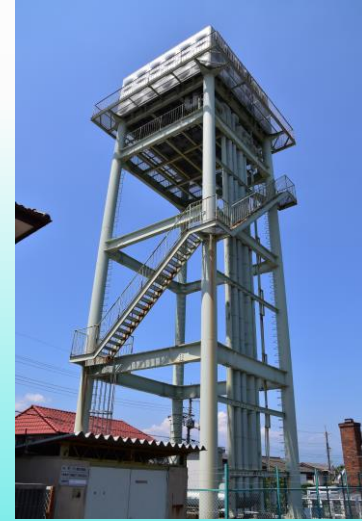


旧渡利浄水場  
(小倉字赤坂地内)

安全確保のため、老朽化した旧渡利浄水場を撤去するものです。



蓬萊高架水槽



桜台高架水槽

蓬萊地区、桜台地区への供給に必要であった蓬萊高架水槽、桜台高架水槽について、供給網の整備が完了し、南部受水池直送系への切り替えが完了したため、廃止するものです。

## ◎ 撤去メーター再資源化事業

- ・現在、使用を終えた水道メーターは、そのまま売却処分(有価財)しています。



水道メーター



分解後

- ① 水道メーターを分解し 金属部分を取り出せば、より高い金額で売却が可能となります。(分解委託料等を差引いても、企業会計の収入が増える)
- ② 分解分別作業を障がい者就労施設へ業務委託し、障がい者等の就業機会の拡大に努めます。
- ③ 分解分別することにより、廃棄物の減量化につながり、脱炭素化社会へ向けた取り組みとなります。

## ★ 水道週間イベントの実施

### 水道まつり2023

- ・日時 令和5年7月8日（土曜日）午前10時30分から午後4時
- ・会場 アクティブシニアセンター アオウゼ
  - エコサイエンスショー&キラキラボトルづくり
  - アイスクャンディーソーブづくり
  - 苔玉づくり

他、管工事組合・福島ユナイテッドFCコーナー等



アイスクャンディーソーブづくり

### 水道ポスターコンクール2023作品展

- ・日時 令和5年7月7日（金曜日）から令和5年7月9日（日曜日）  
午前10時30分から午後4時
- ・会場 アクティブシニアセンター アオウゼ
  - 福島市内の小中学生から応募があった全作品を展示します。



令和4年度 小学校低学年の部 最優秀賞作品